



UPS ユーザの更新

Cisco Unified Presence Server の Bulk Administration (BAT) を使用すると、Cisco Unified Presence Server ディレクトリ内にあるユーザ グループを更新できます。

Cisco Unified Presence Server のユーザの更新

Cisco Unified Presence Server ディレクトリのユーザ グループを更新するには、次の手順に従います。

開始する前に

ユーザ名、制御されるデバイス名、およびディレクトリ番号を含む CSV データ ファイルが必要です。次のいずれかの方法を使用して、CSV データ ファイルを作成できます。

- CSV 形式に変換される BAT スプレッドシート
- ユーザ データのエクスポート ファイルを生成するエクスポート ユーティリティ

エクスポート ユーティリティにより生成されるファイルを更新する場合は、ファイルを接尾辞 `_MgrLevel#` に基づいて降順で挿入します。# は 1 ~ 20 の数字です。ファイルの末尾に `_user` という接尾辞を挿入し、マネージャのユーザ レコードが存在することを確認してから、[マネージャのユーザ ID(Manager User ID)] フィールドにあるマネージャのユーザ ID を使用します。

手順

ステップ 1 [Bulk Administration] > [UPS] > [UPS ユーザの更新] の順に選択します。

[CUPS ユーザの更新 (Update Users Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [ファイル名 (File Name)] フィールドで、この一括トランザクションに対して作成した CSV データ ファイルを選択します。

ステップ 3 [ジョブ情報 (Job Information)] エリアで、ジョブの説明を入力します。

ステップ 4 ただちにユーザ レコードを挿入する場合は、[今すぐ実行] オプション ボタンをクリックします。後でユーザ レコードを挿入する場合は、[後で実行 (このジョブをスケジュールして有効にするには [ジョブスケジューラ] ページを使用します。)] をクリックします。

ステップ 5 ユーザ レコードを挿入するジョブを作成するには、[送信] をクリックします。

ステップ 6 Bulk Administration メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブをスケジュールおよびアクティブ化します。

関連項目

- [Cisco Unified Presence Server のユーザの更新 \(P.41-2\)](#)